

里の景域における一般基準

里の景域		
項目	景観形成基準	
建築物・ 工作物	配置・ 規模	<input type="checkbox"/> 地域の景観を特徴づけている山や海、河川等への眺めと調和した配置・規模とする。 <input type="checkbox"/> 通りや周辺との連続性に配慮した配置・規模とする。
	形態・ 意匠	<input type="checkbox"/> 周辺のまちなみや田園景観と調和した形態・意匠とする。 <input type="checkbox"/> 大規模なものとなる場合には、長大な壁面等により周囲に圧迫感を感じさせることのないよう形態・意匠を工夫する。
	屋外設備 等	<input type="checkbox"/> 道路等の公共の場から容易に目にするのできる位置には配置しない。やむを得ず設置する場合には、目立たないよう工夫し、外観との調和に配慮する。
	色彩	<input type="checkbox"/> 周辺のまちなみや田園景観と調和する外観となるよう、基調色に奇抜な色彩の使用は避け、以下に示す色彩基準に適合したものとする。 【色彩基準】 外観の基調色（屋根や壁面などで主に用いられる色彩）は、マンセル値で以下の数値内とする。 R・YR・Y系：彩度4以下 上記以外の色相：彩度2以下 （届出対象工作物のうち屋外広告物にあたるものは、鹿児島県屋外広告物条例の基準を適用する。）
		アクセント色の使用は各見付面積の1/5を超えない。
	外構・ 緑化等	<input type="checkbox"/> 道路等の公共の場から見える場所は、緑豊かな外観となるようできる限り緑化に努める。 <input type="checkbox"/> 塀や柵等は、植栽と一体となった意匠となるよう配慮する。 <input type="checkbox"/> 駐車場は、閑散とした印象とならないよう敷地内の緑化や舗装等による修景に努める。 <input type="checkbox"/> 地域を特徴づける石垣や樹木等はできる限り保全する。
太陽光発 電設備	<input type="checkbox"/> 太陽電池モジュールは、低明度かつ低彩度の目立たないものを使用し、低反射で模様が目立たないものを使用すること。 <input type="checkbox"/> 太陽電池モジュールのフレームは、低明度かつ低彩度の目立たないものを使用し、低反射の素材を使用すること。 <input type="checkbox"/> パワーコンディショナー、分電盤、フェンス等の附属設備の色彩は、低明度かつ低彩度の目立たないものとする。	
	<input type="checkbox"/> 道路沿いや民家等、公共の場から望見できる場所に設置する場合には、通行者・車両や民家等から直接見えないよう植栽やフェンス（不透過性のもの等）等で目隠しを行い、威圧感や存在感を軽減できるよう施工すること。 <input type="checkbox"/> 景観上、主要な眺望点から視認できる場合には、太陽光発電設備を背景の色彩と同化させることや分散して配置のうえ植栽等を用いる等、人工物の存在感を軽減させる工夫を行うこと。 <input type="checkbox"/> 尾根線上、丘陵地又は高台に設置する場合には、稜線を乱さない又は土地形状に違和感を与えることのないよう施工すること。	

里の景域		
項目		景観形成基準
開発行為、 土地の開墾 その他土地 の形質の変 更	造成等	<input type="checkbox"/> 地形を活かし、地形改変が最小限となることに配慮した造成に努める。 <input type="checkbox"/> 切土・盛土は最小限となるよう配慮する。 <input type="checkbox"/> 一団の開発に伴う法面や擁壁が生じる場合には長大なものではできる限り避け、周辺に圧迫感を与えないよう配慮する。やむを得ず長大なものとなる場合には、緑化などの措置により、周辺と調和するよう努める。 <input type="checkbox"/> 擁壁等は、自然素材を使用するなど、できる限り周辺の自然となじむよう配慮する。
土石の採取・鉱物の 掘採		<input type="checkbox"/> 既存の樹木等はできる限り保全・活用する。 <input type="checkbox"/> 道路等の公共の場から地肌の露出が目立たないよう採取・掘採位置等を工夫する。
木竹の伐採		<input type="checkbox"/> 道路等の公共の場から見える場所での伐採はできる限り避ける。やむを得ず伐採する場合には、伐採面積は必要最小限とするとともに、伐採の位置や方法、伐採後の植栽等で跡地等が目立たないよう配慮する。
屋外における物件の 堆積		<input type="checkbox"/> 道路等の公共の場から堆積物が目立たないように、位置を工夫する。 <input type="checkbox"/> 堆積の高さをできる限り抑え、植栽や塀による目隠しを行うなどの配慮をする。
外観照明		<input type="checkbox"/> 周辺の生活環境に配慮し、過度の明るさや動きのある照明は使用しない。

里の景域



通りや周辺との連続性に配慮した配置・規模とする
周辺のまちなみや田園景観と調和した形態・意匠とする

周辺のまちなみや田園景観と調和する外観となるよう、基調色に奇抜な色彩の使用は避け、色彩基準に適合したものとす



地域の景観を特徴づけている山や海、河川等への眺めと調和した配置・規模とする

周辺のまちなみや田園景観と調和した形態・意匠とする

周辺のまちなみや田園景観と調和する外観となるよう、基調色に奇抜な色彩の使用は避け、色彩基準に適合したものとす

景観形成基準の解説（参考例）

造成等



- 法面や擁壁の長大化は避け、分節化する
- やむを得ず長大化する場合は、後退と緑化等で周囲と調和を図る

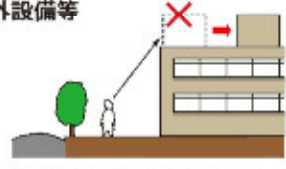


- なだらかな法面と擁壁の組み合わせ等で圧迫感を軽減する



- 擁壁を設ける場合には、自然素材の使用や緑化ブロックで周囲になじむよう修景する

屋外設備等



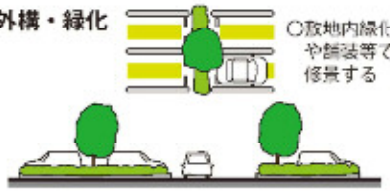
- 容易に見えない位置へ設置したり、外壁と一体的な仕様にする
- 位置を変更できない場合には、ルーバー等による目隠しを行う

配置・規模、形態・意匠、色彩



- 特徴づけている山への眺めを阻害しない配置・規模とする
- 周囲のまちなみとの調和に配慮した連続性のある配置や形態・意匠とする
- 外型には奇抜な色彩の使用は避け、屋根は外壁色と調和させる

外構・緑化



- 高木・低木の組み合わせで周囲の樹林と調和を図る
- 屋外駐車場等では、外周に植栽を施す



- 敷地境界部では樹木や生け垣で緑化する
- 特徴的な石垂や樹木は残す

○敷地内緑化や舗装等で修景する

まちの景域における一般基準

まちの景域																		
項目	景観形成基準																	
建築物・ 工作物	配置・ 規模	<input type="checkbox"/> 地域の景観を特徴づけている山や河川等への眺めと調和した配置・規模とする。 <input type="checkbox"/> 通りや周辺との連続性に配慮した配置・規模とする。																
	形態・ 意匠	<input type="checkbox"/> 商業系市街地*では、建物の建ち並びや歩行空間との連続性を意識した形態・意匠とし、賑わいの創出に配慮する。 <input type="checkbox"/> 住居系市街地*では、周辺のまちなみと調和したまとまりのある形態・意匠とする。 <input type="checkbox"/> 大規模なものとなる場合には、長大な壁面等により周囲に圧迫感を感じさせることのないよう形態・意匠を工夫する。																
	屋外設備 等	<input type="checkbox"/> 道路等の公共の場から容易に目にするのできる位置には配置しない。やむを得ず設置する場合には、目立たないように工夫し、外観との調和に配慮する。																
	色彩	<input type="checkbox"/> 商業系市街地では、外観にアクセント色を使用する場合は、低層部分で用いるなど、歩行者目線での賑わいづくりにつながる工夫や演出に努めるとともに、全体として周辺から突出した印象とならないよう配慮し、基調色は以下に示す色彩基準に適合したものとする。 <input type="checkbox"/> 住居系市街地や工業系市街地*では、周辺のまちなみと調和する外観となるよう、基調色に奇抜な色彩の使用は避け、以下に示す色彩基準に適合したものとする。工場・倉庫等の建築物については、できる限り明度の高い色彩を選択し使用する。 <hr/> <p>【色彩基準】外観の基調色（屋根や壁面などで主に用いられる色彩）は、マンセル値で以下の数値内とする。</p> <table border="0"> <tr> <td>(住居・工業系市街地)</td> <td>R・Y R・Y系</td> <td>：彩度4以下</td> <td rowspan="5" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">アクセント色の使用は、各見付面積の1/5を超えない。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>上記以外の色相：彩度2以下</td> </tr> <tr> <td>(商業系市街地)</td> <td>R系</td> <td>：彩度4以下</td> </tr> <tr> <td></td> <td>Y・Y R系</td> <td>：彩度6以下</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>上記以外の色相：彩度4以下</td> </tr> </table> <p>(届出対象工作物のうち屋外広告物にあたるものは、鹿児島県屋外広告物条例の基準を適用する。)</p>	(住居・工業系市街地)	R・Y R・Y系	：彩度4以下	アクセント色の使用は、各見付面積の1/5を超えない。			上記以外の色相：彩度2以下	(商業系市街地)	R系	：彩度4以下		Y・Y R系	：彩度6以下			上記以外の色相：彩度4以下
	(住居・工業系市街地)	R・Y R・Y系	：彩度4以下	アクセント色の使用は、各見付面積の1/5を超えない。														
		上記以外の色相：彩度2以下																
(商業系市街地)	R系	：彩度4以下																
	Y・Y R系	：彩度6以下																
		上記以外の色相：彩度4以下																
外構・ 緑化等	<input type="checkbox"/> 道路等の公共の場から見える場所は、緑を効果的に活用した潤いある外観となるよう、緑化に努める。 <input type="checkbox"/> 塀や柵等は、植栽と一体となった意匠となるよう配慮する。 <input type="checkbox"/> 駐車場は、閑散とした印象とならないよう敷地内の緑化や舗装等による修景に努める。 <input type="checkbox"/> 地域を特徴づける石垣や樹木等はできる限り保全する。																	
太陽光発 電設備	<input type="checkbox"/> 太陽電池モジュールは、低明度かつ低彩度の目立たないものを使用し、低反射で模様が目立たないものを使用すること。 <input type="checkbox"/> 太陽電池モジュールのフレームは、低明度かつ低彩度の目立たないものを使用し、低反射の素材を使用すること。 <input type="checkbox"/> パワーコンディショナー、分電盤、フェンス等の附属設備の色彩は、低明度かつ低彩度の目立たないものとする。																	
		<input type="checkbox"/> 道路沿いや民家等、公共の場から望みできる場所に設置する場合には、通行者・車両や民家等から直接見えないよう植栽やフェンス（不透過性のもの等）等で目隠しを行い、威圧感や存在感を軽減できるよう施工すること。																

まちの景域		景観形成基準
開発行為、 土地の開墾 その他土地 の形質の変 更	造成等	<input type="checkbox"/> 切土・盛土は最小限となるよう配慮する。 <input type="checkbox"/> 一団の開発に伴う法面や擁壁が生じる場合には長大なものはできる限り避け、周辺に圧迫感を与えないよう配慮する。やむを得ず長大なものとなる場合には、緑化などの措置により、周辺と調和するよう努める。
土石の採取・鉱物の 掘採		<input type="checkbox"/> 既存の樹木等はできる限り保全・活用する。 <input type="checkbox"/> 道路等の公共の場から地肌の露出が目立たないよう採取・掘採位置等を工夫する。
木竹の伐採		<input type="checkbox"/> 道路等の公共の場から見える場所での伐採はできる限り避ける。やむを得ず伐採する場合には、伐採面積は必要最小限とするとともに、伐採の位置や方法、伐採後の植栽等で跡地等が目立たないよう配慮する。
屋外における物件の 堆積		<input type="checkbox"/> 道路等の公共の場から堆積物が目立たないように、位置を工夫する。 <input type="checkbox"/> 堆積の高さをできる限り抑え、植栽や塀による目隠しを行うなどの配慮をする。
外観照明		<input type="checkbox"/> 住居系市街地や工業系市街地では、周辺的生活環境に配慮し、過度の明るさや動きのある照明は使用しない。 <input type="checkbox"/> 商業系市街地では、過度に明るい照明の使用は避けるとともに、魅力ある夜間景観の創出につながるよう配慮する。

まちの景域



大規模なものとなる場合には、長大な壁面等により周辺に圧迫感を感じさせないように形態・意匠を工夫する

商業系市街地では、外観にアクセント色を使用する場合は、低層部分で用いるなど、歩行者目線での賑わいづくりにつながる工夫や演出に努めるとともに、全体として周辺から突出した印象とならないよう配慮し、基調色は色彩基準に適合したものとす

商業系市街地では、建物の建ち並びや歩行空間との連続性を意識した形態・意匠とし、賑わいの創出に配慮する

地域の景観を特徴づけている山や河川等への眺めと調和した配置・規模とする
通りや周辺との連続性に配慮した配置・規模とする

住居系市街地では、周辺のまちなみと調和したままとまりある規模・形態とする



住居系市街地では、周辺のまちなみと調和する外観となるよう、基調色に奇抜な色彩の使用は避け、色彩基準に適合したものとす

植や植等は、植栽と一体となった意匠となるよう配慮する
地域を特徴づける石垣や樹木等とできる限り保全する

景観形成基準の解説（参考例）

外構・緑化



- 道路との境界部を中心に、樹木や生け垣・低木等による植栽で囲いづくりを行う
- 入口付近にシンボルツリーを施す等、緑を効果的に活用する



- 敷地内緑化や舗装等で修景する
- 高木・低木の組み合わせで周囲の樹林と調和を図る
- 路外駐車場等では、外周に植栽を施す

配置・規模、形態・意匠、色彩

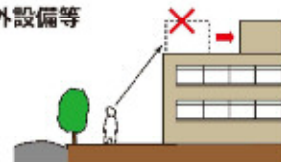


- 特徴づけている山への眺めを阻害しない配置・規模とする
- 周辺のまちなみとの調和に配慮した連続性のある配置や形態・意匠とする
- 住居系市街地等では、外壁への奇抜な色彩の使用は避け、屋根は外壁色と調和させる



- 大規模なものとなる場合には、大壁面となることを避ける
- 大規模となる場合には、変化のある形態による分節化や、凹凸のある意匠、外壁の色彩の変化等による分節化を行い、周囲への圧迫感を軽減する

屋外設備等



- 容易に見えない位置へ設置したり、外壁と一体的な仕様にする
- 位置を変更できない場合には、ルーバー等による目隠しを行う